



**MI デッキと MEC Industry 鹿児島湧水工場が  
ウッドデザイン賞 2023 でダブル受賞**  
— 2022年の農林水産大臣賞に続き、2年連続で上位賞を受賞 —

MEC Industry 株式会社（本社 鹿児島県始良郡湧水町木場 3102、以下 MEC Industry）は、MEC Industry が製造・販売を行う【MI デッキ】ならびに、【MEC Industry 鹿児島湧水工場】がウッドデザイン賞 2023 を受賞したことをお知らせいたします。

「MI デッキ」は今後に期待できる作品として、ソーシャルデザイン部門にて上位賞となる奨励賞を受賞しました。MI デッキは、木板と鉄筋トラス付き鋼製デッキを組み合わせた型枠材兼仕上げ材で、MEC Industry が開発した特許申請済の商品です。中高層建築で木質空間を安価かつ簡易に実現しながら、環境保全にも貢献します。

「鹿児島湧水工場」は、10月に受賞した2023年度グッドデザイン賞に続いての受賞となります。南九州産木材の流通を通じた地方創生や地域との共生の実現に向け、木材を活用した施設と働く環境をデザインすることで、新しい工場のあり方を創ることを目指しました。

<ウッドデザイン賞 2023 受賞プロジェクト一覧>

【奨励賞】

「MI デッキ」（ソーシャルデザイン部門／技術・建材分野）

【受賞】

「MEC Industry 鹿児島湧水工場」（ソーシャルデザイン部門／建築・空間分野）

※株式会社三菱地所設計、大豊建設株式会社との共同応募



▲MI デッキ（型枠材兼仕上げ材）



▲MEC Industry 鹿児島湧水工場（受付棟）

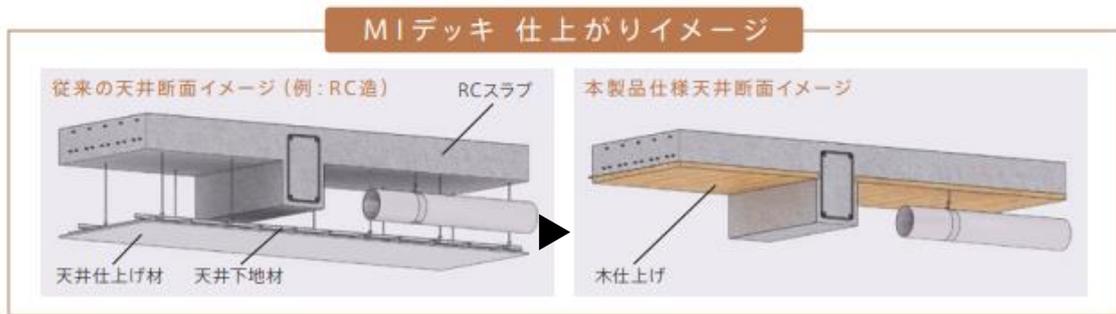
「ウッドデザイン賞」は、木を使って様々な社会課題を解決するモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。建築・空間、技術・建材、プロダクト、コミュニケーション、調査・研究の5分野と生活者視点、消費者視点から見た木の良さ・価値を表す3つの部門から構成されています。

MEC Industry は、未来の地球環境に貢献できる「木（もく）」の活用を通じて、「まち」に炭素固定を生み出すとともに、適正な伐採を通じて「もり」に良い循環を生み出し、「まちともりの架け橋」となることを目指します。

## ■作品概要

【MI デッキ】(ソーシャルデザイン部門/技術・建材分野) 《奨励賞》

MEC Industry 株式会社



▲MI デッキの使用イメージ



▲採用物件(キラメキ南国ビル: 鹿児島市)



▲採用物件(東京藝術大学 Hisao&Hiroko TAKI PLAZA: 東京都)

## <概要>

【MI デッキ】はRC造・S造<sup>\*1</sup>で使われる建材の一部を国産の「木」に置き換え、中高層建築で“木質空間”を安価で簡易に実現し、環境保全にも貢献する「新建材」です。

日本における現行の建築基準法では、大規模な木造建築を建築した場合、防耐火規制に適合するための耐火被覆工事などにより高コスト化するうえに構造利用した木材を「現し」で活用することが難しく、中高層建築での木材普及率が低いという課題があります。

MI デッキは、木材を構造利用ではなく、鉄筋トラス付き鋼製デッキと木(もく)が一体化された型枠にコンクリートを打設する型枠と仕上げの兼用材となっており、建築基準法に適合しながら、従来工法に比べ大きなコストアップなく木質空間を実現します。すでに採用地域は全国に広がり、物件用途は賃貸マンション、高齢者向け分譲マンション、商業施設、大学、ホテルなど様々なアセットでの活用も進んでいます。

また、型枠材兼仕上げ材として現しで利用することで、天井下地及び天井仕上げ材が不要となるため、資材コストの削減と労務負担の軽減にも寄与します。さらに、従来の天井仕上げと比べて天然木の温もりが感じられる空間を創出できるため、多くの人々がリラックスし、心地よいと感じられる木空間を実現します。当製品は、日本の中高層建築の木質化に寄与しながら、国産木材を活用して、建物自体の炭素固定も促すことで地球環境へも貢献します。

## <評価のポイント>

RC造やS造で使われる建材の一部を木に置き換えた独創性ある建材。型枠材兼仕上げ材として使うことでコスト面や意匠面でも効果をもたらし、炭素固定のメリットも併せ持っている。

(評価コメントは一般社団法人 日本ウッドデザイン協会のプレスリリースより引用)

[https://www.wooddesign.jp/cms/news\\_award/contents/49/](https://www.wooddesign.jp/cms/news_award/contents/49/)

## 【MEC Industry 鹿児島湧水工場】（ソーシャルデザイン部門／建築・空間分野）

MEC Industry 株式会社、株式会社三菱地所設計、大豊建設株式会社



▲MEC Industry 鹿児島湧水工場（受付棟）



▲工場全体を照らす「木の道」



▲社員食堂

### <概要>

MEC Industry 鹿児島湧水工場は 2022 年に稼働を開始した木材加工工場です。人口約 9,000 人と、過疎化が進む地域の廃校跡地を利用して建てられた当工場は、働く人の視点に立ちながら従来の工場のあり方を刷新・デザインしていくことで、地元の雇用を生み、地域と共生する新しい工場のロールモデルとなることを目指しました。

木材産業において「木をどのように使うか」と「木をどのように生産するか」は両輪の関係にあります。本プロジェクトは木を生産する現場としての工場のあり方を見直し、働く人の視点に立ちながら働き方・服装・動線・空間を総合的にデザインすることで、地方の工場から木材産業全体を活気づけることを目的とした計画です。自分たちで扱う木材を実験的に多用しながら、従来の工場のイメージを刷新していくことで、産業の担い手でもある地元の人々が積極的に働きたいと思えるような工場を目指しました。

2×4 材や、CLT※2 を構成する幅はぎ板など、自分たちの工場で扱う木材で建築を構成することにより建材の移動に伴う CO2 の排出量を最小限にしつつ、更新が容易な計画としています。例として、ブリッジの手すりを使用する 2×4 材はブリッジの上から足場なしで交換できるように計画し、また、受付棟の階段室の光を受け止めるルーバーは簡単に手で取り外しできるように計画されています。木材という非永続的な素材を前提に、建築を構成する部材の単位を「小さく」かつ「反復」して使用することで更新性を高めつつ、それが次の世代によって引き継がれるデザインとしています。

## ■MEC Industry 株式会社について

MEC Industry 株式会社は、2020年1月、「木（もく）」を活用する社会の実現を目的として、三菱地所株式会社、株式会社竹中工務店、大豊建設株式会社、松尾建設株式会社、南国殖産株式会社、ケンテック株式会社、山佐木材株式会社の7社の出資を受け設立されました。

7社の持つ強みを駆使し、自社で工場を持つことで、国産丸太の調達から製材、商品の製造、流通、施工、販売といった川上から川下までのビジネスフローを統合し、中間コストを抑制したビジネスモデルを確立。RC造・S造に「木」を取り入れた新建材を供給する「新建材事業」と、自社工場でプレファブリケーション化した木造建築の供給を実現する「MOKUWELL 事業」、事業活動において生まれる、あらゆる山林資源を活用した「木有活事業」を推進し、**低コストかつユーザーニーズに合致した高品質な製品を供給**します。

MEC Industry は、国産材を使用することで国内森林の持つ炭素固定、水源、災害防止等の多面的な機能の維持に貢献し、森林の好循環を生み出すことで **SDGs の達成や脱炭素社会の実現にも貢献**します。また、**地域との関わりを密にし、地域の未来も育む**ことで、**労働人口不足や地方創生**といった社会課題の解決にも取り組んでいきます。



▲鹿児島湧水工場（全景）

### 【会社概要】

所在地	鹿児島県始良郡湧水町木場 3102（鹿児島県立栗野工業高校跡地）
代表者名	小野 英雄
設立年	2020年1月24日
資本金	36億円
主な事業内容	建材材料の仕入、製造及び販売等
ホームページ	<a href="https://www.mec-industry.com/">https://www.mec-industry.com/</a>



▲WEB サイト

以 上

※1 RC造・S造：RC造…鉄筋コンクリート造、S造…鉄骨造

※2 CLT：Cross Laminated Timber（直交集成板）の略称で、木の板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した建材

<本件に関するお問合せ先>

MEC Industry 株式会社 企画部（担当：内門）  
TEL：0995-55-1586 MAIL：pr@mec-industry.com